



平和 茶碗の図  
人間国宝 荒川豊蔵氏筆

多治見西 RC 創立 10 周年記念誌より  
右写真 平成 23 年多治見駅前



第 2630 地区

例会日 毎週木曜日  
事務局 多治見市新町 1-23  
産業文化センター 4F  
TEL 0572-25-5100 FAX 0572-25-5101  
E-mail : n-rc@joy.ocn.ne.jp  
HP http://tajiminishi.jimdo.com/  
会長 佐藤 正 幹事 古田徳夫  
会報 佐藤八郎 堀 義紀

第 46 期会長テーマ  
「つなげよう奉仕の心」



第 2206 例会 2011 年 9 月 29 日 (木)

お 祝 い 例 会

場所 : 例会場 点鐘 : 12:30

本日のプログラム

点 鐘  
ロータリーソング 手に手つないで  
四つのテスト

会長挨拶  
出席・スマイル報告  
委員会報告  
幹事報告

【お祝い】 親睦委員長  
お誕生日  
結婚記念日  
点 鐘

・ガバナー事務所より  
未来の夢計画ハンドブック発行の案内  
[他クラブ例会変更のお知らせ](#)

・多治見バーサイド RC → 10月4日(火)  
国際陶磁器フェスティバル美濃鑑賞例会のため  
「セラミックパーク MINO」

[先週の記録](#)

★出席報告 (出席免除者 5 名内出席者 2 名)

出席者	欠席者	出席率
30 名	5 名	85.71%

★スマイル報告

投函者 19 名 金額 24,000 円

- ・夜間例会に突然欠席してご無礼しました。 稲垣 昇
- ・水害御見舞 佐藤八郎
- ・皆様、身の回りに被害はありましたでしょうか?外には出ない様にして下さい。 加藤真左子
- ・八ちゃんの卓話期待しています。 興奮しないで下さい。 嶋内龍男
- ・八郎さん卓話よろしくお祈いします。 佐藤 正 山崎正司 大岩順子

[着信書類](#)

- ・恵那ロータリークラブより  
創立 50 周年記念式典・祝賀会の案内  
日時 : 平成 23 年 11 月 13 日 (日)  
場所 : 恵那峡グランドホテル
- ・2011 年 10 月 ロータリーレイト  
1 ドル 78 円

## 9 月のお祝い

### お誕生日

9月14日 石垣智康君  
 9月16日 佐々英夫君  
 9月21日 佐藤八郎君  
 9月23日 今井義郎君  
 9月23日 堀 義紀君



9月18日 関谷昌子様 (好弘君夫人)  
 9月24日 山田ゆうこ様 (正史君夫人)

### 結婚記念日

9月22日 大澤大二君



### I. M. について

日時 : 10月1日(土)  
 場所 : 恵那峡グランドホテル  
 点鐘 : 14:00

- ・当日の交通機関は JR です。
- ・集合 : 多治見駅改札前  
12時20分頃

多治見発 12時43分→恵那着 13時9分

### 陶技学園運動会について

- ・日時 : 10月2日(日)  
午前9時30分より
- ・場所 : 陶技学園運動場

### 9 月 の 卓 話



各務和宏君  
 9月1日  
 「歯について」



中島竹壽君  
 9月8日  
 「自社の紹介」



佐藤八郎君  
 9月22日  
 「20年前の  
 ウィークリーより」

## 「多讀補多忘」

大澤大二

今年3月、苗栗 RC 訪問の際しばらくぶりに台北にいった。最終日午前中が自由行動であったので、故宮博物院に行こうと決めた。

かつては入ってすぐの部屋に殷の時代亀の甲羅に文字を刻んだ世界最古の文字が展示してあったことなどを思い出し、また平日だからきっと空いていてゆっくり見られるだろうとタカをくくって行ったら、すごい人ばかりであった。

よく見てみるとどうやら中国本土からの旅行客である。入館してみると記憶にある展示とやはり違うので、戸惑っている間にも入場者はどんどん増えていきとても展示物を見るどころでなくなってしまった。まるで満員電車に乗り合わせたごとくになって、早々に退散しようとしたその時、この句が文字通り向こうから目に飛び込んできた。しばらくその書に釘付けになった僕はそうかそれでいいのかと納得し思わず手帳に書き留めた。何故この一文が飛び込んできたのか。理由は2つ。積読(つんどく)ながら、本をよむことがわりに好きであるにもかかわらず少しも効果がなくもう止めようかとも考えていた矢先でもあったことへの警告と励まし。そしてこの言葉からすぐに連想したのは学生の頃赤尾の豆単で有名な英単語帳表紙の裏の「人間は忘れるのである。忘れる以上に覚えるのである。」とあった一文である。未だ英語にあこがれを持ちながらもそうはできない身には痛い言葉であり、常にそれが頭の片隅にあったためであろう。

どなたかこの「多讀補多忘」が誰の作なのか、また赤尾氏の「忘れる以上に覚えるのである」がこれを出典としているのかご存じの方がございましたらご教示ください。時は読書の秋、時々本に向かうときこのことをよく思い出す。



来週(10月6日)のお知らせ

定例理事会 : 3階特別会議室 11:30

卓話 : 加藤真左子さん「私と数学」

※ 国際陶磁器フェスティバルの入場券をご希望の方は事務局までご連絡下さい。